

学校運営協議会会議録(令和4年第5回)

学校名	大宮小学校
記録者	井上 深雪

開催日時	令和4年8月29日(月)14:00～15:30
開催場所	大宮小学校 体育館
出席者(委員)	本川校長・長谷川委員長・玉村委員・橋本委員・加藤委員 齋藤委員・根岸委員・荒木委員・井上
出席者(学校)	

会議内容(次第順)

【内容】	<p style="margin: 0;">学校保健委員会</p> <p style="margin: 0;">(1) 校長挨拶(学校医・学校薬剤師紹介)</p> <p style="margin: 0;">(2) 定期健康診断結果・保健室利用報告(養護教諭)</p> <p style="margin: 0;">(3) 各科校医、薬剤師の先生方より一言</p> <p style="margin: 0;">(4) 講演『かかりつけ歯科医を持って健康長寿に』(歯科校医 神田 昌宏先生)</p> <p style="margin: 0;">(5) 質疑応答</p> <p style="margin: 0;">(6) 終わりの言葉(堀ノ内子供園園長)</p>
-------------	---

主な意見

【報告事項】□

(2) 【身体計測の結果】	<p style="margin: 0;">都・区平均ともに、3年生までは男子、4年生以上では女子の方が体が大きい(性差による一般的な成長の違い)。本校の平均値も、一部を除き同ような成長の様子である。全学年男子は身長体重共に都平均値より小さめである。特に1年男子の身長、3年男子の身長体重が都平均値より小さめである。3年女子の身長が都平均値より大きめである。1・2・3・5・6年女子は身長体重共に都平均より小さめである。特に1・2・3年女子の身長、5・6年女子の身長体重が都平均より小さめである。</p> <p style="margin: 0;">【保健室来室状況】</p> <p style="margin: 0;">1日あたりの来室人数は、外科的・内科的理由は6月が一番多かった。この人数には、身体的な処置を求めて来室した児童のみを計上している。実際には、特別な配慮を要する児童や、教室で過ごすことができず心を落ち着けるために来室、休み時間に相談等で来室、洋服が汚れて着替えに来室など、様々な理由でこれよりも多い児童が保健室を利用している。(抜粋)</p>
(3) 新型コロナウイルス感染症について「家族での感染が多い。」「ワクチンの接種を徹底する事が感染の重症化や広がりを抑える。」「手足口病やヘルパンギーナが出ているが、感染症対策をしているので、例年より患者が少ない。」「新学期は(特に高学年)生活の乱れからか、めまいの患者さんが増える。」等、児童の健康診断や日々の診療で気になることについて	
(4) 最近では虫歯の患者は多くない。成人の喪失歯の原因は虫歯ではなく、8～9割が歯周病である。歯が無くなると、物を噛むことが出来ないだけでなく、バランスよく物を噛む事が出来ないため体のバランスも悪くなる。奥歯の噛み合わせが、転倒にも関わっているといわれている。また、噛む事で脳への刺激をすることから、認知症の発生リスクにも大きく関係している。歯周病は、感染症である。感染対策(口腔内をきれいにする)をすれば、防ぐことが出来る。	<p style="margin: 0;">乳歯の虫歯について、「乳歯は抜けてしまうので、永久歯になったら歯みがきを頑張れば良いのではないか」と言われることがあるが、歯みがきは生活習慣の一つであり、乳歯を磨かないでいれば、永久歯も同じ状態になる。虫歯のところに痛みがあれば、よく噛むことも出来ない。よく噛んで食べることで、唾液の分泌を促すことができ、消化吸收を助ける。それが正常にできなくなるのは健康な状態ではない。口腔内の健康が全身におよぶ。子どもから大人までライフステージに沿った口腔内の問題点を見つけていくためにも、かかりつけ歯科医を持って定期的に受診することが、人生を豊かに生きていく上で非常に重要である。(抜粋)</p>

【協議事項】

なし	
----	--

次回の会議日程

第6回	9月9日(木)10:00～11:30
-----	--------------------